

新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドライン（第7版）

高知県立大学

全国各地の感染状況は、11月以降増加傾向が強まり、過去最多の水準となっています。特に北海道や首都圏、関西圏、中部圏を中心に顕著な増加がみられ、このままの状況が続けば、医療提供体制と公衆衛生体制に重大な影響が生じると言われています。

高知県でも、「感染症対応の目安」となるステージが、12月1日に感染観察（緑）から注意（黄）に、さらに翌2日には警戒（オレンジ）に引き上げられました。今後も、全国の状況をみると全く予断を許さない状況です。Go To キャンペーンをはじめとしたイベントや旅行、大学での授業再開など、人の動きや対面での社会活動の活性化が現在の感染増加につながっていることは間違いありません。特に食事を伴う人と人との接触が感染拡大と大きく関わっています。

このような状況から、本学では一部緩和していた感染防止対策を見直し、「**新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドライン（第6版）**」の改定を行いました。

今一度、ひとり一人が**気を緩めることなく自身の行動を見直し、「新しい生活様式」にそった行動変容**ができているか、確認してください。

少人数であっても複数人での食事はできるだけ控え、食事をしながら何かをすることはやめてください。

大学では、感染防止と学習機会の確保の両立を図ることが最も重要です。本学は、円滑に学生生活を送っていただけるよう引き続きできる限りの感染予防に努めて参ります。学生の皆さんは、本ガイドラインを遵守し、高知県立大学の学生としての自覚を持ち、責任ある行動をとるようにしてください。

「**新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）**」をまだインストールされていない方は、早急にインストールをお願いします。全国的に大学生間でのクラスターが報告されています。感染者との接触の可能性がわかったら、いち早く感染を広げない行動をとることも大切です。

以上のことから、本学は、文部科学省が『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～』（2020.9.3 Ver.4）の**行動基準のレベル1からレベル2**に従って行動することとします。

「新しい生活様式」を踏まえた大学の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い 教科活動	部活動 (自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2m程度 (最低1m)	行わない	個人や少人数での感染 リスクの低い活動で短時 間の活動に限定

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い 教科活動		部活動 (自由意思の活動)
		収束局面 感染リスクの 低い活動から 徐々に実施	拡大局面 感染リスクの 高い活動を停 止	
レベル2	1mを目安に 学級内で最大限の 間隔を取る	収束局面 感染リスクの 低い活動から 徐々に実施	拡大局面 感染リスクの 高い活動を停 止	感染リスクの低い活動か ら徐々に実施し、教師等が 活動状況の確認を徹底
レベル1	1mを目安に 学級内で最大限の 間隔を取る	適切な感染対策を行った上で 実施		十分な感染対策を行った 上で実施

目次

1	感染予防と健康管理	2
2	登校時及び大学滞在時の留意点	4
3	課外活動等について	5
4	アルバイト	6
5	キャンパスへの立入制限について	6
6	居所について	7
7	日常生活における留意点	7
8	就職活動の留意点	8
9	感染又は濃厚接触者となった場合	8
10	経済的支援などの相談窓口について	9
11	感染リスクが高まる「5つの場面」	10
12	生活・行動の基盤として遵守することを期待されている「新しい生活様式」	11
13	各種連絡先	12

1 感染予防と健康管理

(1) 基本的な感染予防

基本的な感染予防対策をひとり一人が着実に継続していくことが非常に重要です。

- ◆ 互いの社会的距離（約2メートル～最低1メートル）の確保
3密（密閉・密集・密接）の回避
- ◆ マスクの着用、咳エチケット
- ◆ 石鹸での手洗い
- ◆ 換気の徹底
- ◆ 少しの体調不良であっても、人との接触を避ける
- ◆ 食事は、大人数を避け、できるだけ時間を短く、静かに、お喋りしない

11月9日の政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の緊急提言において、大学等では、若年層での感染のため、無症状や軽症の場合が多く「早期に探知しにくいクラスター

一」が発生しており、授業そのものよりは、むしろ飲み会や寮生活、課外活動等といった場面で発生が確認されていることが明らかになりました。

知らない間に感染を広げてしまう危険と飲食を伴う人との接触を特に注意する必要があります。食事は、大人数を避け。できるだけ短く、静かに、お喋りしない。どうしても会話をする場合は、食事中でもマスクを着用してください。

(2) 健康管理

感染予防対策の基本中の基本です。

毎日、健康状態を検温と「健康チェックシート」で確認してください。

*「健康チェックシート」はポータルの「お知らせ」又は事務局で入手してください。

◆ 1項目でも症状等該当する項目がある場合

→ 人と接する全ての活動はやめ、自宅等で待機

→ 登校の有無に関わらず大学に必ず連絡

◆ 37.2℃以上発熱があった場合：解熱した翌日から3日間は自宅で健康観察

項目①～⑨、⑪に該当 → ★1 特別欠席連絡先 (class@cc.u-kochi.ac.jp)

項目⑩に該当 → ★2 学年担当連絡先 (学部-学年@cc.u-kochi.ac.jp)

*連絡方法は、「健康チェックシート」裏面を参照

- すべての連絡を健康管理センターでも確認しています。
- 必要に応じて、健康管理センターから連絡をします。
不安、心配などもご相談ください。

- 免疫力を高めるため、「十分な睡眠」、「適度な運動」、及び「バランスのとれた食事」を心がけてください。
- 基礎疾患があることにより重症化するリスクが高い人等は、主治医に相談の上、健康管理センターに申し出てください。状況もふまえ、遠隔授業を行うなどの対応を行います。
- 自宅等でも感染リスクはあります。居室を分けるなど、感染予防をしてください。

【参考】ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合

家庭内でご注意いただきたいこと～8つのポイント～（厚生労働省 HP）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00094.html#gokazoku

◆ 症状がある場合の相談・受診について

下記の症状を感じたら、高知県新型コロナウイルス健康相談センター「088-823-9300」に相談し、指示を受けてください。

- ①息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ②重症化しやすい方（※）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

※呼吸器疾患や糖尿病などの基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方など

③上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

(症状が4日以上続く場合は必ず相談してください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。)

◆ 相談・受診の結果、PCR 検査等を受ける（た）場合

PCR 検査を受ける（た）時点で、健康管理センターにお知らせください。

また、結果が出次第、報告してください。

* 万一、陽性と判明した場合 → 9 感染又は濃厚接触者となった場合へ

* 保健所又は医療機関から陽性の連絡を受けた際に、アプリ (COCOA) に登録を希望する旨を伝え、保健所から「登録番号」を受け取り、速やかに登録してください。

登録は、利用者の同意が前提ですが、接触した可能性がある周囲の方が検査などのサポートをより早く受けられるようになりますので、ご協力をお願いします。

2 登校時及び大学滞在時の留意点

(1) 「健康チェックシート」で必ずチェック

登校前に✓し、1 つでも症状等があれば登校は控え、自宅等で待機してください。

(2) マスクを必ず着用

マスクを必ず着用し、「3密」での会話や発声は避けましょう。

※マスクを外すときは、ゴムやひもをつまみ、なるべくマスクの表面には触れず、内側に折りたたんで清潔なビニールや布に入れるなどして清潔に保ってください。

※マスクは学内のゴミ箱に捨てないでください。マスクの表面には触れずにビニール袋等に入れ、袋の口を縛って持ち帰ってください。

咳エチケット（厚生労働省 HP）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000187997.html>

(3) 手洗い、手指の消毒の徹底

石鹸で必ず手洗いをしましょう。

できない場合は、出入口のアルコールでしっかり 30 秒、手指の消毒をしましょう。

- ・ 大学に来た時
- ・ 授業開始前後
- ・ トイレ使用后
- ・ 食事前後
- ・ 咳やくしゃみ、鼻をかんだ後（授業時間中は除く）

※ハンカチを必ず持ち歩きましょう。お友達との貸し借りは厳禁です。

(4) 入室前にもう一度、確認（体温、マスク、手洗い）

体温を測ってない場合は、教室に入る前に健康管理センター、事務局又は学部事務室で測ってください。

(事務局 池：教務課、学生・就職支援課、永国寺：教務課、学生支援課)

(5) 使用した机・椅子の消毒

不特定多数の人が使用する教室等の机や椅子は、設置している住宅用洗剤で使用前・後に清拭をしてください。

(6) 昼食時の留意点

学内で昼食をとるときは、大学が指定する場所でとるようにしてください。

- ・石鹸で手を洗う。
- ・対面で座らない。
- ・**お喋りしない。(少しでも話す場合は、食事中でもマスクをする。)**
- ・手早く済ませる。

※食堂以外の食事場所には、住宅用洗剤とペーパータオルを準備していますので、食事の前後に必ず自分で清拭してください。清拭した後は、必ず石鹸で手を洗ってください。

※食堂内及びオープンスペースの席は間隔をとって、並べていますので、絶対に移動させないでください。

(7) 廊下や階段は右側通行

不必要な接触を避けるため、最低1メートルの間隔をとり、右側通行を心掛けましょう。互いの流れもスムーズになります。

廊下等で立ち止まって、話すのはやめてください。

(8) エレベーター

必要な方を優先的に、また3密を避けるため、できる限り階段を利用しましょう。

(9) 登下校時

やむを得ず公共交通機関を利用する場合も、必ずマスクをしてください。

親しい友人と乗り合わせても、お喋りをしないでください。

できるだけ距離をおくなど注意してください。

乗り合わせた他の乗客にも感染のリスクがあります。責任ある行動をとりましょう。

このことは、登下校時に関わらず、公共交通機関を利用する際には、必ず注意してください。

(10) その他

大声で声をかけたり、話し合ったりしないでください。

授業時間以外でも密を避けて行動してください。

3 課外活動等について

高知県の感染ステージが「警戒（オレンジ）」に移行したことを受け、**【ステップ1（学内で、学内関係者のみの活動に限る）】**にします。

学内関係者の感染がわかった場合は、全部又は一部活動を制限する場合があります。その場合は大学から指示しますので、その指示に従ってください。

現時点では、活動制限許可を受けているサークルだけが活動できます。

活動に際しては、「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」の利用及び「新しい生活様式」を踏まえ感染予防対策を講じた活動計画等の提出及び許可が必要です。

◆ 12月以降の方針◆

【ステップ1（学内で、学内関係者のみの活動に限る）】

禁止事項

- 1 原則、外部の方と接触のある活動
- 2 原則、学外施設の利用
- 3 長時間の活動（午前・午後をまたぐ活動）
- 4 3密【密閉、密集、密接】にあたる活動
- 5 大学から活動が許可されていないサークル団体の活動
- 6 親睦を目的とした食事会や飲み会

※クラブ・サークル等の活動の詳細は、下記のお知らせを確認してください。

・6/29「課外活動の制限付き再開について」

・9/30「課外活動の制限付き許可における活動範囲等の見直しについて」

※「立志社中」については、地域連携課からのお知らせに従ってください。

4 アルバイト

アルバイトをする場合は、健康管理をしっかりと行い、感染予防に注意してください。

- 適切な感染予防対策がとられていないところでは、アルバイトを自粛してください。アルバイト先が適切に感染予防対策を講じているかどうか、事前に必ず確認してください。

※参考：業種ごとの感染拡大予防ガイドライン（内閣官房新型コロナウイルス感染対策推進室）<https://corona.go.jp/prevention/pdf/guideline.pdf>

- クラスターが発生しやすい環境の施設や「3密」のある場所でのアルバイトは自粛してください。
（接待を伴う）飲食店、カラオケ、ライブハウス、スポーツジムなど
- アルバイトに際しては、「**新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）**」を利用してください。
- 実習施設との取り決めで実習前の一定期間及び実習期間中のアルバイトを禁止する学部があります。各学部の指示に従うようにしましょう。

5 キャンパスへの立入制限について

「**感染が続いている場所**」（直近1週間の10万人当たりの新規感染者数が2.5人以上の都道府県）から高知に戻った場合には、原則、戻った日の翌日から2週間、構内に立入することができません。

ただし、以下の場合は対面授業を受講する場合に限り、入構を認めます。

- 行先が、「**特別感染拡大地域**」（直近1週間の10万人当たりの新規感染者数10人以上が2週間以上続く都道府県）でないこと。
- 健康チェックシートの項目のうち、⑩を除き問題がないこと。
- 対面授業を受講する旨を学年担当連絡先に申し出ること。

- * 演習科目や実習については、各学部の指示に従ってください。
- * この場合も対面授業の受講後、構内に滞在することはできません。速やかに退出してください。

6 居所について

本学では、感染防止と学習機会の確保の両立を図ることを最優先としています。やむを得ない場合を除き、他県との往来はできるだけ控えてください。

◆ 高知の居所を離れる場合

必ず事前に、大学（学年担当連絡先）に「移動先」・「期間」・「理由」を連絡してください。

◆ 「感染が続いている場所」に行き、高知に戻った場合

不要な外出は控え自宅等で2週間の健康観察期間を設けてください。

- ※なお「感染が続いている場所」を短時間で経由する場合（乗換等）は、該当しません。
- ※「感染が続いている場所」及び「特別感染拡大地域」については、毎週ポータルを通じてお知らせします。
- ※移動に際しては、「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」を利用してください。

7 日常生活における留意点

- 学内に限らず、手洗い、うがい、換気、マスク着用が必要です。
- 「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」を利用してください。
- クラスターが発生しやすい環境の施設や「3密」のある場所への外出は控えてください。
- 特に、換気が悪く人が密に集まる場所への出入りは控えてください。
カラオケ、スポーツジム、ライブハウス、コンサート、観劇、接待を伴う飲食店など
- 多人数との会話や交流などは控えましょう。
夜間の飲食店や繁華街への外出は控えてください。
- 友人などと食事をするときは、対面ではなく、横並びに座り、長時間のお喋りはやめましょう！
- 休日等を含め、不要不急の外出は控え、「感染が続いている場所」、特に「特別感染拡大地域」への旅行や帰省はしないでください。（「感染が続いている場所」から高知に戻った場合は、2週間の健康観察期間をお願いします。参照：6 居所について）
- 無症状のまま他人に感染させてしまう可能性もあります。高齢者や基礎疾患のある方との接触はできる限り避けましょう。
- 濃厚接触者の調査が難航しているようです。感染が拡大している状況では、身の回りで感染が起こらないとは限りません。感染拡大防止に協力できるよう日頃から自分の行動をメモに残すなど記録をしておきましょう。
- 新型コロナウイルスの報道や日常生活の変化で不安を感じることは当たり前の反応です。一人で抱え込まず、友人や家族にも話してみましょう。健康管理センター保健師、学年担当などにメールや電話で相談してください。

※参考：業種ごとの感染拡大予防ガイドライン（内閣官房新型コロナウイルス感染対策推進室）<https://corona.go.jp/prevention/pdf/guideline.pdf>

○ 差別・偏見・誹謗中傷をしない

インターネット、SNS、噂等で、新型コロナウイルス感染症に関する様々な情報が流れていますが、中には事実に反するデマ情報、不確かな情報も含まれています。新型コロナウイルス感染症と闘っているのは、感染した患者さん、ご家族等です。公的機関等が発表する正確な情報に基づき冷静に行動し、デマ情報、不確かな情報に惑わされることのないようにお願いします。

新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染しうる病気です。相手を思いやる気持ちを持ち、正確な情報を把握し、冷静に行動しましょう。

8 就職活動の留意点

(1) 活動地域の感染状況等を考慮

活動目的地の感染状況に応じて、移動も含め、自身で感染予防を講じましょう。

「**感染が続いている場所**」、特に「**特別感染拡大地域**」での活動は、できる限り控えてください。

可能であれば、オンライン説明会への参加、Web面接等での活動を推奨します。

(2) 活動中の感染リスクの低減対策

マスクの着用、咳エチケット、手洗いの励行

3つの「**密**」を避ける行動をとりましょう。

「**新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA)**」を利用してください。

(3) インターンシップ

参加希望者は、必ず、インターンシップ先が受入可能か、感染予防対策が講じられているかを確認し、事前にワクワク Work!! にプログラム等の資料を添えて申し出てください。別途、インターンシップに関するお知らせに従ってください。

・インターンシップの実施地域や内容によって、インターンシップ期間前後で健康観察期間を設けてもらうことがあります。

また、感染リスクが高いと判断した場合は、許可されない場合があります。

・インターンシップに参加する際は、必ず学年担当教員に申し出るとともに、ご家族にもお知らせください。

9 感染又は濃厚接触者となった場合

(1) 「新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA)」で接触が確認された場合

症状の有無、身近に感染者がいる、いないに関わらず、大学に連絡してください。

アプリで示された連絡先に連絡し、PCR検査を希望し、受けてください。

結果が出るまで保健所の指示に従い、自宅等で健康観察。

PCR検査で陽性又は濃厚接触者と特定された場合

→ (2) 感染者又は濃厚接触者に特定された場合へ

* 陽性と判定されたら、保健所から「登録番号」を受け取り、速やかに登録してください。

(2) 感染者又は濃厚接触者に特定された場合

保健所の指示に従うとともに、速やかに大学に連絡してください。

- * 感染者の大学における行動履歴把握や濃厚接触者の特定等のための調査が行われる場合には、本学も協力することになります。
- * 健康管理センターから連絡をします。学内での必要な措置を講じるため、特定されるまでの状況等をお聞きしますので、協力をお願いします。
- * 感染者に特定された場合は、人権に配慮し、個人情報を保護したうえで本学 HP での公表や報道等に情報提供をします。
- * 設置主体である高知県や大学における感染者発生の情報等を収集・蓄積している文部科学省への報告も求められています。

(3) 2週間以内に感染者や濃厚接触者と接触したことが分かった場合

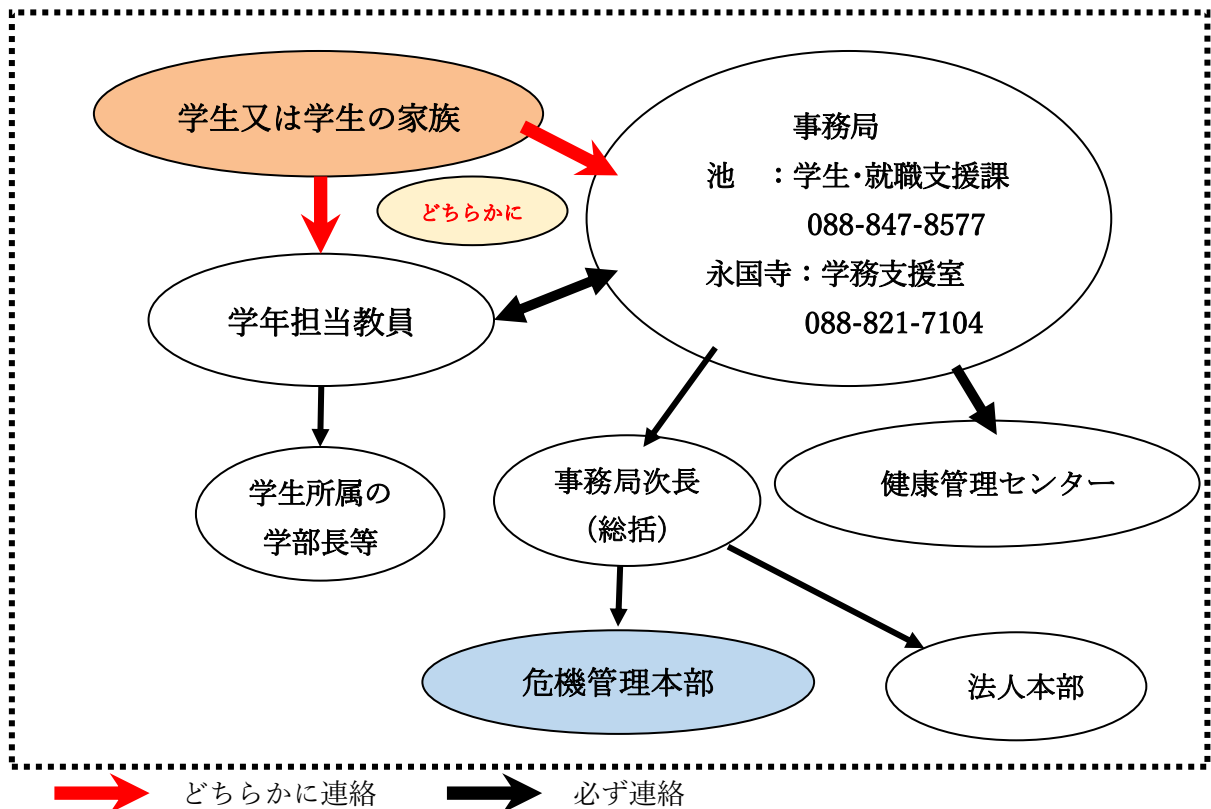
他の人との接触をできる限り避け、行動を自粛し、自宅等で待機してください。その際は、必ず、大学に連絡してください。

(4) 同居人が濃厚接触者に特定された場合

自身も2週間は自宅待機し、健康観察を行ってください。その際は、必ず、大学に連絡してください。

(5) 感染者あるいは濃厚接触者となった場合の連絡網

(COCOA で接触が確認された場合を含む)



10 経済的支援などの相談窓口について

本学では、国の修学支援新制度、本学の授業料免除制度、授業料の分納・延納、日本学生支援機構の給付型奨学金、貸与型奨学金など様々な経済的支援を利用していただくことが可能です。

各支援の申請の時期や方法については、ポータルを通じてお知らせしていますが、申請時期や内容も異なりますので、ご利用に際し不明な点などございましたら、お気軽にご相談ください。

また、現在は下記の支援（給付）についても随時申請を受け付けています。

- ・高知県立大学同窓会しらすぎ会特例学生活動支援金（上限 年額 10 万円）
- ・高知県立大学後援会緊急支援奨学金（上限 年額 10 万円）

■ 事務局 池キャンパス：学生・就職支援課 088-847-8577
永国寺キャンパス：学生支援課 088-821-7104
e-mail:gakusei1@cc.u-kochi.ac.jp

11 感染リスクが高まる「5つの場面」（新型コロナウイルス感染症対策分科会提言）

【参考】<https://corona.go.jp/proposal/>

【場面1】 飲酒を伴う懇親会等

- ・飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- ・特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- ・また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。

【場面2】 大人数や長時間におよぶ飲食

- ・長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- ・大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

【場面3】 マスクなしでの会話

- ・マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- ・マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- ・車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

【場面4】 狭い空間での共同生活

- ・狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- ・寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

【場面5】 居場所の切り替わり

- ・仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- ・休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

12 生活・行動の基盤として遵守することを期待されている「新しい生活様式」

○【参考】新しい生活様式（厚生労働省 HP）別紙 1

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

「新しい生活様式」の実践例

（1）一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

（2）日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



（3）日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

（4）働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 名刺交換はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定

13 各種連絡先

ガイドラインの項目番号	連絡事項	連絡先
1	健康チェックシートのチェック項目に1つでも症状等（該当項目）がある場合	該当項目：①～⑨、⑪ →特別欠席連絡先 class@cc.u-kochi.ac.jp 該当項目：⑩ →学年担当連絡先 学部名-学年@cc.u-kochi.ac.jp * 学年担当連絡先一覧参照
1	症状がある場合の相談・受診について	高知県新型コロナウイルス健康相談センター 088-23-9300
1	相談・受診の結果、PCR検査等を受ける（た）場合	健康管理センター保健師 池：088-847-8743 kenkou@cc.u-kochi.ac.jp 永国寺：088-821-7116 hoken@cc.u-kochi.ac.jp
3	課外活動等に関すること	池、永国寺 学生支援担当 gakusei1@cc.u-kochi.ac.jp 又は 池：088-847-8577 永国寺：088-821-7104
5	「感染が続いている場所」から戻った場合の健康観察期間中の大学での受講の申し出	学年担当連絡先
6	高知県外に移動するとき（帰省、旅行を含む）	学年担当連絡先
7	新型コロナウイルスなど日常生活の変化に関する不安等の相談	健康管理センター保健師
9	「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」で接触が確認された場合	学年担当教員 又は
9	感染者又は濃厚接触者に特定された場合	池、永国寺 学生支援担当 池：088-847-8577
9	2週間以内に感染者や濃厚接触者と接触したことが分かった場合	永国寺：088-821-7104 * 緊急を要するため必ず連絡が取れるまで連絡をするようにしてください。 ご本人から難しい場合は、ご家族からでも構いません。
9	同居人が濃厚接触者に特定された場合	* 緊急を要するため必ず連絡が取れるまで連絡をするようにしてください。 ご本人から難しい場合は、ご家族からでも構いません。
10	経済的支援に関する相談 授業料免除、奨学金など	池、永国寺 学生支援担当

★学年担当連絡先一覧

下記メーリングリストへのメールは、各学年担当教員＋各学生支援担当に送られます。

学部（文化：永国寺事務室学生支援担当、看護・社福・健栄：池事務局学生支援担当）

大学院（看護学研究科：池事務局学生支援担当、人間生活学研究科：池事務局学生支援担当、永国寺事務室学生支援担当）

学部・研究科	学年等	メーリングリスト	
文化	1	bunka-1	@cc. u-kochi. ac. jp
	2	bunka-2	@cc. u-kochi. ac. jp
	3	bunka-3	@cc. u-kochi. ac. jp
	4	bunka-4	@cc. u-kochi. ac. jp
文化 (夜間主)	1	bunka-n1	@cc. u-kochi. ac. jp
	2	bunka-n2	@cc. u-kochi. ac. jp
	3	bunka-n3	@cc. u-kochi. ac. jp
	4	bunka-n4	@cc. u-kochi. ac. jp
看護	1	kango-1	@cc. u-kochi. ac. jp
	2	kango-2	@cc. u-kochi. ac. jp
	3	kango-3	@cc. u-kochi. ac. jp
	4	kango-4	@cc. u-kochi. ac. jp
社会福祉	1	shafuku-1	@cc. u-kochi. ac. jp
	2	shafuku-2	@cc. u-kochi. ac. jp
	3	shafuku-3	@cc. u-kochi. ac. jp
	4	shafuku-4	@cc. u-kochi. ac. jp
健康栄養	1	kenei-1	@cc. u-kochi. ac. jp
	2	kenei-2	@cc. u-kochi. ac. jp
	3	kenei-3	@cc. u-kochi. ac. jp
	4	kenei-4	@cc. u-kochi. ac. jp
看護学研究科	前期課程	kango-m	@cc. u-kochi. ac. jp
	後期課程	kango-d	@cc. u-kochi. ac. jp
人間生活学研究科	前期課程	ningen-m	@cc. u-kochi. ac. jp
	後期課程	ningen-d	@cc. u-kochi. ac. jp